

EPA看護師候補者の受入れ ～学習支援への取り組み～

平成28年4月19日(火)
社会医療法人 若弘会
佐井敦子

社団概要

社 団 名：社会医療法人 若弘会

設 立：昭和53年

理 事 長：川合弘毅

施 設 数：11施設

本部所在地：東大阪市若草町4-19

常勤職員数：1,052名(2016.4.1現在)

理 念：『最高の医療を提供し、地域社会の健康と
健やかな人生に貢献します。』

社団組織図

 社会医療法人若弘会

本部



若草第一病院
救急/急性期病院
(東大阪市)



わかくさ竜間
リハビリテーション病院
慢性期医療
(大東市)



介護老人保健施設
竜間之郷
(大東市)



在宅部門
(大東市)



わかこうかいクリニック
(大阪市浪速区)

受入れ施設概要

わかくさ竜間リハビリテーション病院

所在地 : 大阪府大東市大字龍間1580

病床数 : 500床, 11病棟

医療療養病棟: 9病棟、418床

回復期リハビリテーション病棟: 2病棟、96床

介護療養病棟: 2病棟、82床

職員数 : 472人

病床稼働率 : 94.8%

平均在院日数 : 209.9日

診療科 : 内科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、歯科



受入れの趣旨

候補者が、協定で認められた期間中に 国家資格を取得し、引き続き日本に滞在できること



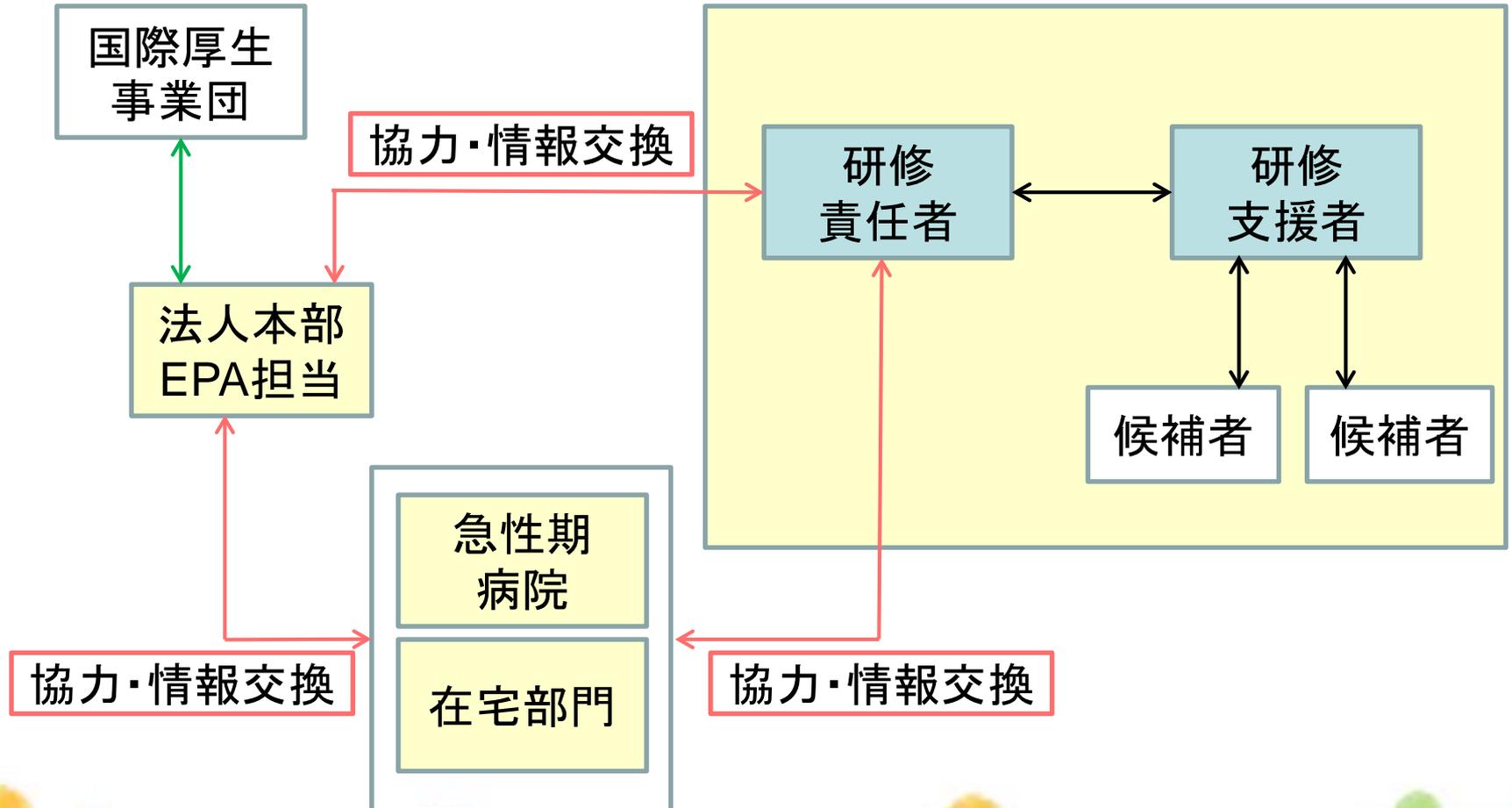
施設として

- 人的交流(外国人と働く)
- 組織の活性化
- 人材確保



法人内の支援体制

受入れ施設(回復期・医療療養病床)



受入れ前の準備

- 生活用品等の準備
- インターネットなど学習環境の整備
- JICWELS主催による受入れ施設対象の就労前説明会への参加
- 看護研修計画書を踏まえた研修プログラムの作成



受入れ前の準備①

◆生活用品の準備

生活用品リスト表

有☑ 購入必要○ 購入不要×

| | | | | | | | | |
|----|-------|---|-------|---|------|---|-----|---|
| 家電 | 照明器具 | ☑ | 冷蔵庫 | ☑ | 洗濯機 | ☑ | 炊飯器 | ☑ |
| | 電子レンジ | ☑ | トースター | × | 卓上電気 | × | 時計 | ○ |
| | パソコン | ○ | | | | | | |
| 家具 | ベッド | ☑ | | | | | | |



「受入れ機関(施設)と候補生との懇親会」等の場で、候補者に生活用品を確認し準備する

受入れ前の準備 ②

◆入職～施設配属までのスケジュール表の作成と書類等の準備

| 入職オリエンテーション | | | |
|-------------|-------------|--------|------------------------------|
| 12/1 | 9:00～10:00 | 就業規則 | 就業規則、雇用契約等の説明 |
| | 10:00～12:00 | 行政届出手续 | 転入届・在留カードの居住地変更 |
| | 13:00～17:00 | 生活支援 | 公共料金等の手続き 通勤経路・教会案内・日用品購入 |
| 12/2 | 9:00～11:00 | 配属施設 | 通勤経路、ユニフォーム採寸 |

パンフレット
寮利用について



手渡す資料には
すべてルビを
振っています



受入れ前の準備 ③

◆研修プログラムの作成

HIDA研修より

中間報告書・最終報告書

学習計画シート(5ヶ月)

就労後の学習計画シート
(目標/達成レベル)

候補生との懇親会



候補者の
レベルを知る

学習支援には

情報収集

(国家試験の概要、出題
傾向、ポイント等)

学習教材の選択

支援者・担当者の情報共有

学習計画シート
研修生No. 59
候補者氏名 フェリリン・テロス サポートコース担当者 PPTD

| 項目 | 目標 Target/Gol | 目標達成期 Month | 達成方法 / 使用教材 Approach / Material | 進捗状況 Progress | | | | | | | | | |
|-------------------|--|----------------|---|------------------------------------|---------|--|---------|----------------------|---------|----------|---------|------------------------------|---------|
| | | | | 2015年7月 | 達成率 (%) | 2015年8月 | 達成率 (%) | 2015年9月 | 達成率 (%) | 2015年10月 | 達成率 (%) | 2015年11月 | 達成率 (%) |
| ① 生活活動 HIDA研修中 | 総合日本語 レベルが上がる | 2015年10月 | 2ヶ月間の先生に 日本語の話し方 について勉強 → 2ヶ月と1ヶ月の お話を → 毎日の練習 → 毎日の練習 → 毎日の練習 | 予習の勉強 (14分) 日本語で話し、 聞き取れた | | 必要言語レベルは 覚え、使い分けに 注意 | | 専門の漢字を覚え ます | | | | 専門の漢と専門の 会話を1日1回 覚えていく | |
| | 日本語が上手に なる | 2015年10月 | → 毎晩1時間 → 毎晩1時間 → 毎晩1時間 | | | | | | | | | 毎晩1時間に 習った漢字を 復習します | |
| 生活活動 | can be able to serve in various in daily living 仕事とはなれたり、 おしゃべりしたり | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 10分(20分) 日本語で話し | | 20分 日本語で 日本人と話し合 → 先生は日本語と 英語を分けて | | 日本人と話す時 話をたいてい分かる | | | | 日本人と話す時 話をたいてい 分かる | |
| ② 専門日本語 | 専門の漢字を覚えたり おしゃべりしたり おしゃべりしたり | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 漢字の書写と読解 | | 普通の看護の漢字 を覚えていく | | | | | | 看護の漢字を たいてい覚えて | |

ト(就労中) D
研修生は毎日1時間15分研修
フェリリン・テロス サポート

| 項目 | 目標 Target/Gol | 目標達成期 Month | 達成方法 / 使用教材 Approach / Material | 進捗状況 Progress |
|------|-------------------|----------------|------------------------------------|-------------------|
| 仕事 | 仕事の内容を1ヶ月 で覚える | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 仕事の内容を1ヶ月 で覚える |
| 国家試験 | 国家試験問題の傾向を 知る | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 国家試験問題の傾向を 知る |
| 仕事 | 仕事の内容を1ヶ月 で覚える | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 仕事の内容を1ヶ月 で覚える |
| 国家試験 | 国家試験問題の傾向を 知る | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 国家試験問題の傾向を 知る |
| 仕事 | 仕事の内容を1ヶ月 で覚える | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 仕事の内容を1ヶ月 で覚える |
| 国家試験 | 国家試験問題の傾向を 知る | 2015年11月 | → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 → 毎朝1時間 | 国家試験問題の傾向を 知る |

学習教材と学習環境

看護師国家試験準備
練習問題 [1]

漢字からのアプローチ

看護師国家試験準備
練習問題 [2]

第102~104回必修問題

看護師国家試験準備練習問題 [3]

第102~104回看護師国家試験
状況設定問題
成人看護学・老年看護学・小児看護学

看護師国家試験準備練習問題 [4]

第102~104回看護師国家試験
状況設定問題
母性看護学・精神看護学・在宅看護論
看護の統合と実践



グループ四次元ポケット 編著

川崎美佐子 福井武司 藤川多美子 朝子神原子



学習支援の実際

JICWELSの学習支援事業 研修プログラムへの参加

- ◆ 音声講義
- ◆ オンデマンド講義
- ◆ eラーニングによる過去問題演習
- ◆ 集合研修5回//年
- ◆ 学習診断・個別指導
3回/年
- ◆ 模擬試験3回/年
- ◆ 個別学習指導訪問

研修内容

- 日本語学習への支援
1日/週 3時間
日本語指導者(外部講師)
- 専門学習への支援
2日/週 6時間
教育担当者
- ✓ 小テストの実施
- ✓ 自己学習の進捗状況確認
- ✓ 2月より5日/週 35時間

学習支援の課題

- ◆ 看護業務の実際に触れられていない
（見ないとイメージできない）
- ◆ 母国と日本の事情の違いや患者をとりまく状況がイメージできない
- ◆ 実践力がより重視される国家試験対策として
臨地での学習が不足している
（看護過程など）



研修プログラムの見直し



研修プログラムの見直し

研修内容(前)

- 日本語学習への支援
1日/週 3時間
日本語指導者(外部講師)
- 専門学習への支援
2日/週 6時間
教育担当者
 - ✓小テストの実施
 - ✓自己学習の進捗状況確認
 - ✓2月より5日/週 35時間

研修内容(後)

- 日本語学習への支援
1日/週 3時間
日本語指導者(外部講師)
- 専門学習への支援
2日/週 6時間
教育担当者
 - ✓小テストの実施
 - ✓自己学習の進捗状況確認
 - ✓2月より5日/週 35時間
- 看護業務実践理解への支援
1日/週 7時間
 - ✓看護過程の展開
 - 4日/8月 28時間
 - ✓ローテーション研修

研修プログラムの見直し

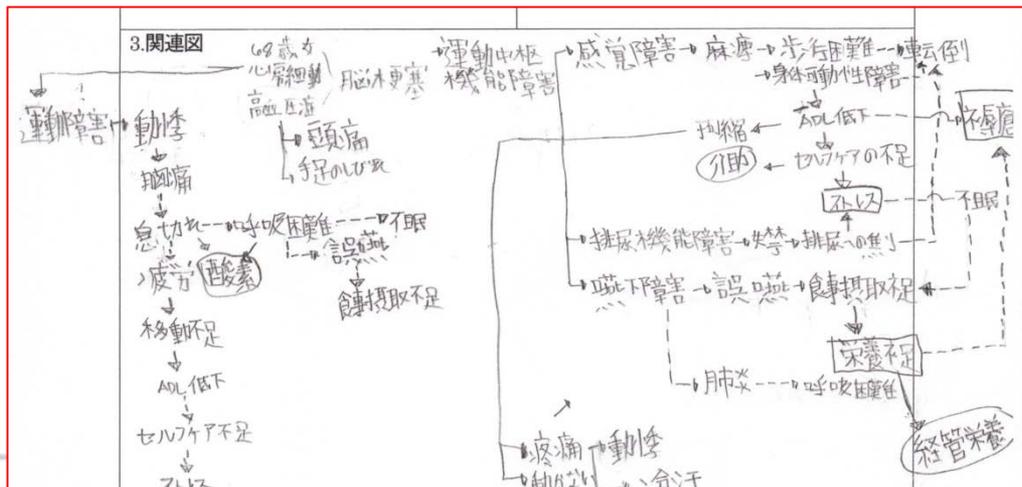
◆看護業務の実践の理解 → 看護過程の展開ができる

- | | |
|---------|---------------------|
| ①情報収集 | 患者情報用紙の記入 |
| ②アセスメント | ヘンダーソンの14項目 |
| ③関連図 | 病態、原因・危険因子、症状、ケア・治療 |



◆看護業務の実践理解 → ローテーション研修

- | | |
|--------|----------------------|
| ①急性期病院 | → 外科病棟、手術室、循環器内科病棟など |
| ②在宅部門 | → 訪問看護 |



研修プログラム作成のポイント

- 日本語学習の支援
- JICWELS学習支援事業を活用した研修プログラムの実施
- 学習の進捗状況のチェック
- 研修プログラムの見直し
(JICWELS学習診断、模擬試験の学習評価より)
- 学習環境の整備
- 責任者・支援者・担当者の情報共有



学習支援の目指すもの

- 国家試験合格
- 看護基礎力の育成
- 継続的学習



- 学習支援体制の確立と研修プログラムの作成・見直し
- 日本語能力の維持・向上
- モチベーションの持続（意欲の継続）